

まち・みちづくり演習Ⅱ

開講科目名	まち・みちづくり演習Ⅱ	講義題目	まちみちづくりのための電子データ、地図、対面調査
単位数	2単位	授業形態	演習科目
開講科目名(英)	Community Communication Exercise II	開講言語	日本語
時間割コード	360423		
定員	20人		
担当教員	森栗 茂一		
対象所属・年次	全研究科、学部3年次以上の全学部生、社会人(若干名)		
開講区分・曜日・時間	集中		
開講場所	オリエンテーションで指定する		
キーワード	e-Stat、data go jp、パーソントリップ、国勢調査、アンケート、GIS		
授業の目的・概要	<p>本講義では、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) まち・みちづくりのコミュニケーションツールとしての、近年急速に公開されつつある、e-Statやdata go jp、パーソントリップ調査、国勢調査、厚労省データなどの所在、データのグラフ・地図化などの処理方法を学ぶ、データリテラシーの基礎を学ぶ。 (2) 統計データやグラフ、地図の意味を推量するリテラシー(信頼度、危険度を感知する力)を涵養する。 (3) アンケート方法とまとめ方を学び、アンケートリテラシーを涵養する (4) 上記の定量的データと、定性的データを組み合わせ、住民にわかりやすく示せるようなコミュニケーションデザイン力を養う。 (5) まち・みちづくりの現場に即した実践的な公共倫理、土木計画の思想の実際を学ぶ。 <p>以上を目的とする。</p>		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電子政府等のデータの入手、処理の基本を学び、自分で基礎的資料を作ることができる。 ・統計、グラフ、地図等の限界と可能性を推量できる能力を養うことができる。 ・統計、グラフ、地図等を使い、説得的に住民に説明できる能力と態度を養う。 ・アンケート手法と、アンケートの限界と可能性を推量できる能力と態度を養う。 ・まち・みちづくりの現場に即した実践的な公共倫理、思想を理解し、専門家としての研生活、日常生活、市民生活で活かすような態度を涵養する。 		
授業計画	<p>第1回 4/16 6限 オリエンテーション 全学教育推進機構ステューデントcommons2階セミナー室2</p> <p>第2回 5/3 (祝) 土木計画の実践における仏教思想(秋山関西大学教授)</p> <p>第3回 5/3 (祝) 続土木計画の実践における仏教思想(秋山関西大学教授)</p> <p>第4回 5/3 (祝) 土木倫理と実践 ふりかえり(秋山関西大学教授)</p> <p>第5回 6/13 e-Stat、data go jp、厚労省データなど公開データ</p> <p>第6回 6/13 演習 e-Stat、data go jp厚労省データ</p> <p>第7回 6/13 パーソントリップ調査、国勢調査、</p> <p>第8回 6/13 演習 パーソントリップ調査、国勢調査</p> <p>第9回 6/14 データのグラフ化とエクセル2013</p> <p>第10回 6/14 データの地図化、オンライン地図データ</p> <p>第11回 6/14 演習 データの地図化</p> <p>第12回 6/14 演習 エクセル2013演習</p> <p>第13回 6/21 スケッチ、切り取りと生活学的手法</p> <p>第14回 6/21 ライフヒストリー記述法、エスノグラフィー(構成主義理解と構造主義理解)</p> <p>第15回 6/21 オンラインアンケート、SNS調査、ビッグデータ</p> <p>OP: 5/23 日本生活学会公開講座「生活と公共」受講(中之島センター)</p>		

授業外における学習	仏教思想、エスノグラフィ関連書籍購読 10時間 e-Stat、data go.jp 厚労省データ 復習による習熟化 10時間 パーソントリップ調査、国勢調査、復習による習熟化 10時間
履修条件・受講条件	まち・みちづくりのための、統計処理、GIS等の学習に関心のある大学院生
教科書・教材	・講義において、授業者の資料を配布する
参考文献	・授業中に指示する
成績評価	授業への参加50%、授業における発言など20%、レポート30%。
特記事項	・授業を受講するにあたり、個人情報も含め、特別な配慮を必要とする学生は初回授業のガイダンス後に申し出ること。 ・ディスカッションと演習中心で授業を進めるので、受講者の積極的な参加と作業を期待する。